

矢作川流域圏懇談会通信

R3 市民部会編 vol.3



発行日：2021年10月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第11回市民部会WGを開催しました！

第11回市民部会WGを、新型コロナウイルス予防対策を徹底した上で開催しました。令和3年度第3回目の市民部会では、7月に実施した第1回公開講座の結果報告、11月に実施する第2回公開講座の開催計画、三河湾大感謝祭の開催方針等について協議しました。

日時：2021年10月8日（金）14:10～15:45

会議場所：豊田市崇化館交流館 大会議室

参加者：13名（内オンライン参加4名） *事務局含む



◆主な会議内容

1. 公開講座「プラスチックが生き物を苦しめている」開催結果報告



7月31日に開催した第1回公開講座「プラスチックが生き物を苦しめている」の開催結果が報告されました。講座への参加者は98名、参加地域は13都道府県に及びました。公開講座の様子は、YouTubeで公開しています。

2. 公開講座「アカトンボが危ない！」開催計画について



ネオニコチノイド系農薬をテーマとした第2回公開講座の開催について協議し、以下の内容が決まりました。
【ネオニコチノイド系農薬公開講座の計画】

・開催日時：2021年11月27日（土）15:00～17:00

・開催方式：ZOOMウェビナーによる完全オンラインのリモート講座。スタジオ機能として三重県四日市市のトンボ研究所に主催者PCを配置する。

・プログラム

15:00～15:05 第1部 挨拶：光岡氏（矢作川流域圏懇談会市民部会座長）

15:05～16:10 第2部 講演：苅部治紀氏（神奈川県立生命の星・地球博物館）

16:10～16:55 第3部 ディスカッション：苅部氏・登壇者（4～5名） 司会進行：松沢氏

進行：①各種生物群の現状とネオニコ系農薬→②農業や市民生活とネオニコ系農薬→③質問への回答→④まとめ

16:55～17:00 第4部 おわりに：山本氏（矢作川流域圏懇談会市民部会副座長）

・広報：10月にチラシを作成し、配布・配信する。公開講座の状況は、後日YouTubeにより動画配信する。

3. 三河湾大感謝祭の開催方針について

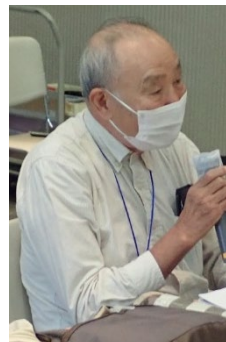


10月24日に開催される「第8回 三河湾大感謝祭」について、矢作川流域圏懇談会としての対応等を話し合いました。その結果、海部会の三河湾に対する考え方を整理し情報発信する、第2回公開講座をPRする、矢作川のクイズなどで矢作川を知ってもらう、ペーパークラフト等を配布する などが決まりました。

4. 第13回 いい川・いい川づくり ワークショップ in 中部の開催報告



10月2日に開催された「第13回 いい川・いい川づくりワークショップ」の開催及び参加状況が報告されました。矢作川流域圏懇談会は、「これまでの10年+これからの10年」として、これまでの活動内容、次の10年の課題等について発表し、グループワークに参加しました。



◆話し合いでの主な意見

(・意見 ▶回答)

●公開講座「プラスチックが生き物を苦しめている」開催結果報告

- 大きな成果は、岐阜大学と四日市大学の学生が手伝ってくれたこと。これからの流域圏懇談会を広く、世代を越えて認識する一つのスタートに立てた意義は大きいと思う。(近藤)

●公開講座「アカトンボが危ない！」開催計画について

- ディスカッションでは、話しが煩雑にならないようにテーマを決めて進行させる。トンボ関係で2名程度、鳥関係で高橋さん、ミツバチ関係で矢作川研究所、農業関係で山本さん、市民生活関係で沖さんにパネリストとして登壇していただき、話題提供をお願いしたいと考えている。(松沢)
- ▶市民生活関係の話題提供者としては、「農業を考える会」の伊藤玲子さんをお願いしており、了解も取れている。(沖)
- ▶養蜂については、農家が実践していることをお話する。稲作については、イネにつくカメムシの被害が大きいので、米を農協に出す以上、農薬使用は必要となる。そのあたりをお話する。(山本)
- ▶ミツバチ関係については、矢作川研究所の研究内容を確認してから検討する予定。(松沢)
- ▶パネリストという位置づけではなくても、ディスカッションに入ってもらおうほうがよい人もいる。その時にパネリストに上げていくという方法も取り入れるとよい。(近藤)
- ・ディスカッションは45分なので、話題提供は長くて1人3~5分程度で、現状をお話しいただく。(松沢)
- ・完全オンラインということは、全員PCでの参加ということか？(光岡)
- ▶公開講座の方式について。主催者PCを配置するスタジオを設置し、そこに司会者PCも配置する予定。(松沢)
- ▶登壇者でPC等に不安がある場合は、スタジオで参加すれば問題はない。(近藤)
- ▶当日はスタジオでの参加としたい。(山本・沖・高橋)
- ・参加者からの質問は主催者PCでチェックし、司会者が整理して、講師やパネリストに答えていただく。(光岡)
- ・YouTubeによる配信について。講演の中で未発表データ等がかなり出てくると思われることから、データの扱いなど配信方法は検討するほうがよい。(松沢)
- ▶YouTubeの生配信はやらなくてもよいと思う。YouTube配信は、編集してから配信する形式がよい。(近藤)
- ▶YouTube配信については、講師の了承を得た上で配信する。(光岡)
- ・チラシの配布について。第1回公開講座では、岡崎市図書館、全国川ごみネットワーク、三河湾淡水生物ネットワークなどに配布していただいた。必要枚数を3部会座長に確認し、10~11月の各部会で配布する。(星)
- ▶愛知・川の会など、基本的にメールで送る予定。会にはお年寄りもおられるので、紙での配布も行う。(近藤)
- ▶市立図書館、市民交流センターなどに置いていただき、市民に広くお知らせする。(沖)
- ▶西三河野鳥の会は、画像を会長か私の所に送ってもらえば、会員に回ると思う。(高橋)

●三河湾大感謝祭の開催方針について

- ・第2回公開講座のPRはやらなければいけない。また、印刷が間に合えば、10年誌を置きたい。(近藤)
- ・チラシを見ると「三河湾はいい海」という感じだが、海部会から言えば、三河湾は水産の状況が悪く、危機的な状況にある。三河湾の現状を問題提起として出してほしい。(井上)
- ▶豊かな海という幻想に対して現実を見せることは重要。海部会が中心となって情報発信するべきと思う。(近藤)
- ▶40年以上前の三河湾は、「365日赤潮が発生していて、魚が育たない」というイメージ。チラシを見ると、「三河湾はきれいになった」という感じで、問題点が複雑になってきていると感じる。(沖)
- ・コロナの関係で、イベント開催の制限はどうか？(光岡)
- ▶愛知県では、イベントの規模はあまり大きくしないという方針はあるが、特に制限はない。(星)
- ・昨年度は、矢作川に関するクイズを作り、クイズに答えたらプレゼントをお渡しした。好評だった。(中田)
- ▶国土交通省のほうで、魚と災害対策車のペーパークラフトを用意する。(佐藤)

●第13回“いい川・いい川づくり”ワークショップ in 中部 の開催報告

- ・見逃した方のために、配信用のYouTube動画を作成中。2日間のドラマをぜひ見ていただきたい。イベントの企画や実行における楽しさや苦しさ、流域のつながりにもつながっている。(近藤)
- ・これからの課題などでいろいろ議論があった。矢作川流域圏懇談会にもつながる課題や解決案など模索できたのではないかと考えている。(星)
- ・今回はハイブリットという形で、オンラインで会場をつないだ。オンラインだからできたこともあり、良さが活かされたのではないかと思う。会場は若い世代の参加が多かった。(星)

今後の予定

■市民部会まとめの会 日時：2021年12月8日(水) 14:00~ 豊田市崇化館交流館

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 佐藤、専門官 竹下、技官 木村

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8129

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 調査課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。